

大学コンソーシアム石川主催 文部科学省平成 24 年度「大学間連携共同教育推進事業」『学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築』

第 3 回障がい学生支援セミナー「高等教育機関における障がい学生修学支援の現状と課題」

後援：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）（予定）

協力：社会福祉法人石川県聴覚障害者協会・石川県聴覚障害者センター

時：2013 年 4 月 22 日（月） 18 時～19 時 30 分（受付 17 時 30 分～）

所：石川県政記念しいのき迎賓館 3 階 セミナールーム B（金沢市広坂 2-1-1）

（大学コンソーシアム石川加盟高等教育機関に対して TV 会議システムによる配信を行います。5 機関まで接続可能ですので、ご希望の機関は大学コンソーシアム石川事務局までご連絡をお願いします）

演題 「全国調査結果から見る障がい学生修学支援の現状と課題」

講師 田中 久仁彦 独立行政法人日本学生支援機構 障害学生支援課長

竹能 康純 同 障害学生支援課 障害学生調査・分析係長

手話通訳による情報保障があります。

趣旨 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は 3 月 15 日、「平成 24 年度（2012 年度）障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果」を発表しました。全国の大学、短期大学、高等専門学校（以下「大学等」）の障がい学生数は 1 万 1768 人で前年より約 15%増えたこと、障がい学生がいる大学等は 66%にのぼっていることなどが明らかとなりました。平成 17 年に国の行政機関で初めてこうした調査を実施して以来、JASSO では障がい学生支援の状況について毎年、データ分析を行っており、授業情報保障を中心とする組織的対応がどのように進んでいるか、全国の教育関係者に貴重な提言を行っています。

おりしも、文部科学省より各大学等に本年 1 月、「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報告（第一次まとめ）について」が通知され、それぞれの大学等では現在、障がい学生に対して具体的にどのような配慮・支援を行うかが検討され、支援専門教職員の配置や支援指針策定など組織的な対応が急ピッチで進んでいます。本セミナーでは、大学等の障がい学生支援の進展と現状、および課題について、JASSO の二人の講師の方に、全国調査結果を踏まえてご報告いただきます。

大学等の教職員・学生だけでなく、初中等教育の関係者の方々を含め、教育とは、障がいとは、そしてあるべき支援や配慮とは、という問題にご関心をお持ちの市民の皆様のご参加を期待します。

参加お申込み 「第 3 回障がい学生支援セミナー申込」とタイトルに記載の上、本文に（1）大学等機関名、（2）所属部局名、（3）お名前（一般の方々はお名前だけでも結構です）を記載して、

mail : kaminashi@ucon-i.jp（担当：上梨）まで送信願います。当日参加も受け付けております。

※しいのき迎賓館の駐車場をご利用の場合は、最初の 30 分のみ 無料となります。

問い合わせ先 大学コンソーシアム石川事務局 TEL：076-223-1633

「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築」に参加する石川県内 19 高等教育機関
金沢大学（代表校）／北陸先端科学技術大学院大学／石川県立大学／石川県立看護大学／金沢美術工芸大学／金沢医科大学／金沢学院大学／金沢工業大学／金沢星稷大学／金城大学／北陸大学／北陸学院大学／金沢学院短期大学／金城大学短期大学部／小松短期大学／金沢星稷大学女子短期大学部／北陸学院大学短期大学部／石川工業高等専門学校／金沢工業高等専門学校